

県塗装工業会

# 清掃と塗替で地域貢献

## 千葉ポートパークの看板



20人以上の職人が集い、公園の顔となる看板の美化に取り組んだ

県塗装工業会(花島伸幸会長)は、千葉市中央区にある千葉ポートパークで看板塗装と清掃ボランティアを26日に実施した。県港湾事務所と県魅力ある建設事業推進協議会の協力のもと展開したもので、当日は会員企業17社から23人の職人が集



花島会長

い、園内の観光ガイドと案内図、広場前と海沿いに設置された各掲示板の計4看板を中心とした周辺の清掃と、看板枠の塗り直しに取り組み、地域の環境美化に貢献している。

開催にあたり花島会長は、早朝にもかかわらず多数の参加者が集まってくれたことに感謝の言葉をかけた。続けて天候に恵まれたことを喜びつつ、

その後、集合写真を終えた参加者は中島康浩理事からの説明を受け、各員の持ち場につきボランティア活動を開始した。参加者は、園内の案内図や掲示板などそれぞれの看板に適した美化方法を選びながら、そうきんがけやケレンがけにより汚れを落とした上で、看板の後ろにある板が取り外せる掲示板式の看板は内面の清掃後にクギの種類にも注意しながら丁寧に板を付け直すなど、創意工夫し看板枠塗装と周辺清掃を展開。塗り直しにあたっては日本ペイントが提供した塗料を使い、もとの色と同様の配色にするなど、活動後は見違えるほどに美しい仕上がりとなっていた。同活動は、社会貢献事業に位置付けられるとともに県内美化活動の一環となるもので2004年度にスタート。今回で23回目を数える。これまで落書きの消去塗装や経年劣化に伴う壁画の保護などを実施



堀越所長

また、応援に駆け付けた県千葉港湾事務所の堀

越宏喜所長もあいさつ。普段から県の港湾行政に尽力してくれていることにあらためて感謝すると、昨年度の検見川浜の壁画保護など県塗装工業会がこれまで実施してきたボランティア活動とその大きな成果を振り返りつつ、今回、対象となる千葉ポートパークは供用開始から38年もの長きにわたり県民から親しまれて使われていることから老朽化が進んでいることに言及。米園者を出迎える「公園の顔」となる看板の再塗装に期待を寄せた。

まず看板をそうきんがけなどで汚れを落とし、美しく塗り直した



その後、集合写真を終えた参加者は中島康浩理事からの説明を受け、各員の持ち場につきボランティア活動を開始した。参加者は、園内の案内図や掲示板などそれぞれの看板に適した美化方法を選びながら、そうきんがけやケレンがけにより汚れを落とした上で、看板の後ろにある板が取り外せる掲示板式の看板は内面の清掃後にクギの種類にも注意しながら丁寧に板を付け直すなど、創意工夫し看板枠塗装と周辺清掃を展開。塗り直しにあたっては日本ペイントが提供した塗料を使い、もとの色と同様の配色にするなど、活動後は見違えるほどに美しい仕上がりとなっていた。同活動は、社会貢献事業に位置付けられるとともに県内美化活動の一環となるもので2004年度にスタート。今回で23回目を数える。これまで落書きの消去塗装や経年劣化に伴う壁画の保護などを実施

するなど、地域に寄り添った活動を進めている。当日参加した会員企業は次の通り。

- ▽伊藤仁塗装▽彩▽上田塗装工業▽開成ペイントックス▽具光塗装▽さくら塗建▽昭和塗装▽白鳥塗装▽成美塗装▽西川塗装店▽日本ペイント千葉営業所▽平野塗装▽松丸塗装店▽宮田塗装工業▽森商事千葉営業所▽ヤオキ▽ワタベ塗工